

はじめに



平成 13 年 1 月 21 日に西東京市が誕生してから、早や 13 年が経過しました。

この間、世界経済のグローバル化が急速に進展するとともに、我が国の産業構造や社会経済情勢も大きく変化しました。

一方、地方においては地方分権が定着する中、様々な形での都市間競争が繰り広げられています。近年はご当地グルメやご当地キャラクター等に代表されるように、その土地の特色を活かした地域活性化に着目した競争が激化しつつあります。

このような状況の下、本市は平成 23 年 3 月に産業振興マスタープランを策定し、地域の中で分野を越えた連携による産業振興施策をスタートしました。

平成 23 年度から平成 25 年度までの当初 3 年間は、全 38 事業から成るアクションプランに基づき各種事業を展開し、一店逸品事業や行政と大手事業者の懇談会から誕生した「活・西東京プロジェクト」の実施等、新たな成果も収めてまいりました。

このような取組みをさらに推進するとともに、マスタープラン策定後の新たな需要や社会潮流の変化等を的確に把握し、本市の産業振興に結びつけるため、平成 26 年度から平成 30 年度までの 5 年間の実行プログラムとなる中期計画を策定しました。

中期計画は、その名のとおり 13 年間のマスタープランの中間期を支える計画であり、その成果が今後の本市の産業振興を左右するといっても過言ではありません。

本市といたしましても、関係機関及び関係団体等の皆様と連携を図りつつ、緊張感とスピード感を持って目標の達成に向けて努めてまいりまいる所存ですので、議会並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

むすびに、中期計画の策定に当たり、多大なご尽力を賜りました西東京市産業振興マスタープラン推進委員会の委員の皆様にご心から感謝と敬意を表し、挨拶とさせていただきます。

平成 26 年 3 月

西東京市長

丸山 浩一